



EneTelusはダイヤゼブラ電機株式会社のエネルギー事業ブランドです。EIBSは、ダイヤゼブラ電機株式会社の登録商標です。

DZ ダイヤゼブラ電機株式会社

本 社 〒532-0026 大阪府大阪市淀川区塚本1-15-27
東京支社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-18-3 錦三ビル
<https://www.diaelec-hd.co.jp/>
<https://www.enetelus.jp/>



ダイヤモンド
エレクトリック
HD公式サイト



EneTelus
製品サイト

EIBS Va-1-A.2025.10.NA



オールインワンV2Hシステム

EIBS[®] Va-1 アイビス ブイエーワン

令和7年度 CEV補助金 機器登録済



未来を見つめて、 ご家庭で目指すカーボンニュートラル

今、日本中で取り組むカーボンニュートラルをご家庭でも目指すことができます。

ガソリン車からクルマに乗り換えることもその一つ。

そしてクルマへの充電だけでなく、住まいへの給電も行えるV2H (Vehicle to Home) システムがEIBS Va-1です。
地球と私たちの未来のために電力を上手に使いながら、安心感のある持続可能な暮らしをお届けします。



クルマ (BEV※1、PHEV※2) への乗り換えは、
家庭のエネルギーを見つめ直す
絶好のタイミング。

クルマの大容量バッテリーをご家庭用の蓄電池として利用し、さらに太陽光発電とクルマを併用すれば、エネルギーコストを抑えることができます。
クルマへの乗り換えを機に、未来につながるエネルギーの使い方を考えてみませんか。

※1 BEV (Battery Electric Vehicle) : バッテリー式電気自動車
※2 PHEV (Plug-in Hybrid Electric Vehicle) : ハイブリッド電気自動車



クルマにためた電力は、
災害などによる
停電時の備えになります。

地震や台風などの自然災害で突然停電しても、クルマに蓄電しておけば、普段の暮らしのように電気を使うことができます。
災害大国に暮らす私たちだからこそ、備えておきたい防災対策の一つです。

使い勝手のいいクルマにするためのV2Hシステム

これまでのクルマ以上に快適に使いこなすための
充実した機能を搭載。

電気をムダにしない高い充放電効率に加え、
普段の使いやすさも追求。

EIBS Va-1本体のコンパクトな
デザイン性にもこだわりました。

当社特許技術で
充放電効率

最大 **88%**



豊富な対応車種

豊富な対応車種主な国内製車種と
一部の海外製車種の電気自動車に対応
しています。電気自動車の対応車種に
ついては、当社 Web サイトに最新情
報を掲載しています。



対応車種はこちら

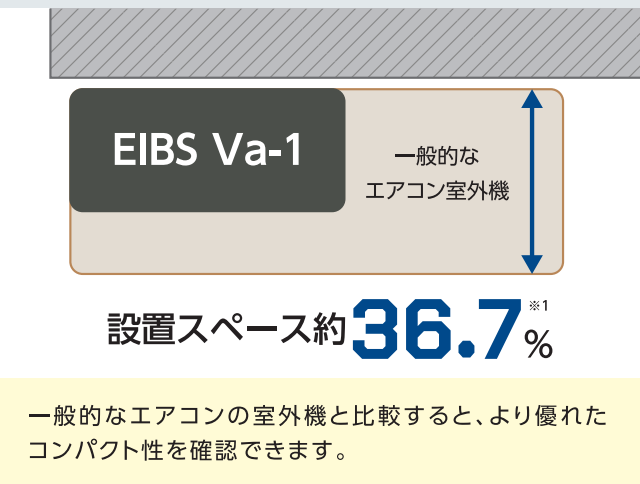


薄型軽量

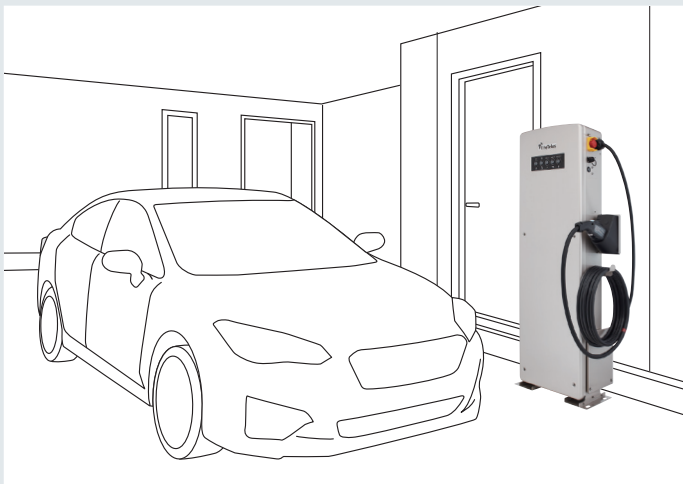
オールインワンなのにコンパクト。
薄型軽量だからスッキリ設置できます。

パワーコンディショナ機能を内蔵したオールインワン設計で、業界トップクラスの薄型軽量を実現しています。
駐車場に設置するのはこの1台だけなのでスッキリ設置でき、駐車スペースを有効に活用できます。

■ 上面から見た図

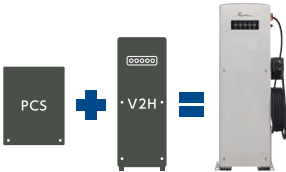


※1 一般的な室外機(幅550mm×奥行300mm)と比較した場合。



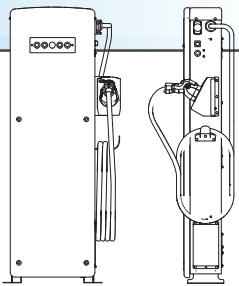
オールインワン

V2Hとパワーコンディショナ
の機能を有し、機器単体で
充電・放電と自立運転を実現。



薄型軽量

業界トップクラスの薄型軽量の
V2Hスタンド。
省スペースでの設置を実現。



音声機能

停電時は別売表示ユニットより音声
でお知らせ。
使用継続可能時間など教えてくれる
ため、安心してご利用いただけます。

※表示ユニットは必須となります。



安心の標準10年保証

標準10年の製品保証を設定しており、
日々安心してご使用いただけます。

※V2Hユニット及び充電ケーブルは10年保証。
その他部材に関しては1年保証。



柔軟性が高い充放電ケーブル



柔らかさも長さもちょうどいい、
取り回ししやすい充放電ケーブル。

柔軟性の高いケーブルを採用しているので、強い
チカラは必要はなく、手軽に扱うことができます。
また長さは7.5mに設定し、広い駐車スペースでも
余裕でクルマとつながることができるよう配慮してい
ます。

運転モードは、大切にしたいことに合わせて

節約、自給自足、備えなど、暮らしの中で大切にしたいことに合わせて、
充電のタイミングや電気のつかい方を選べる、4つの運転モード機能を搭載しています。

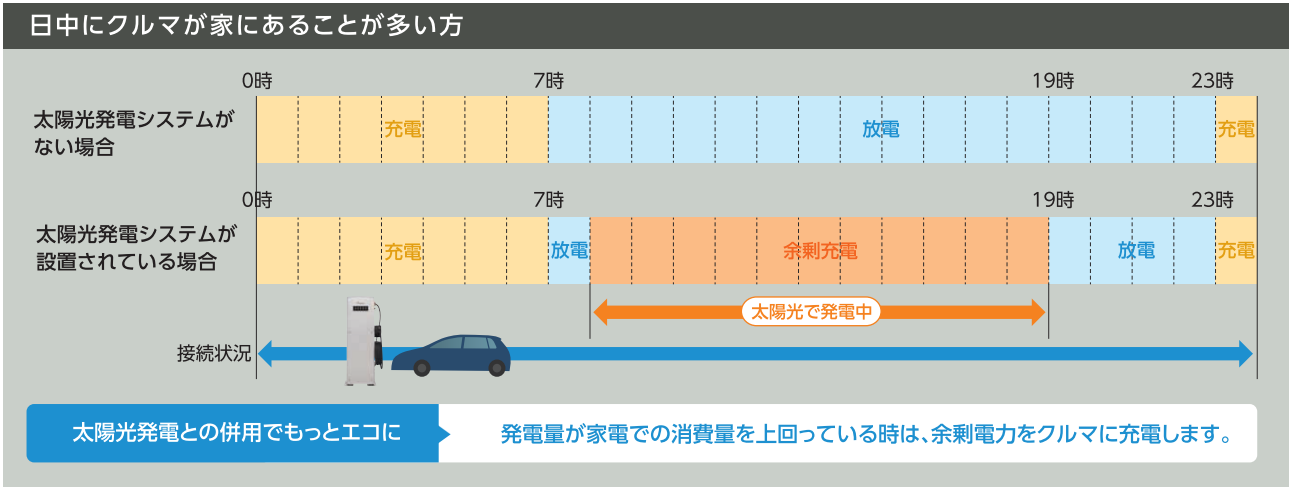
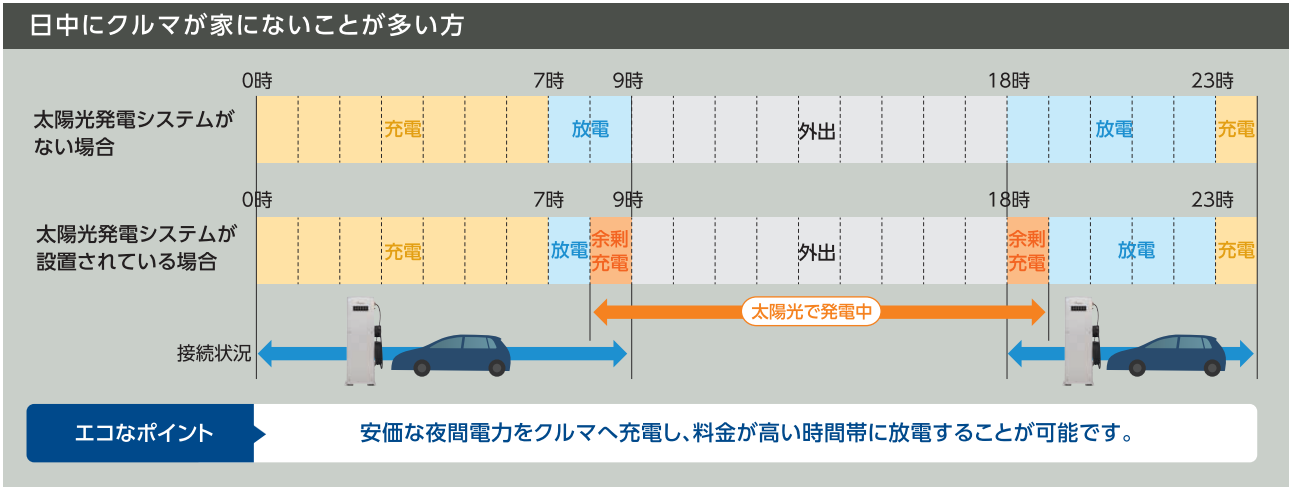
■ 4つの運転モード

1日2回以上の充放電	スマートモード	太陽光システムがない	ご家庭に
電力自給率を高める	節エネモード	太陽光システムあり + FIT終了  売電単価が安い	ご家庭に
売電を優先する	ノーマルモード	太陽光システムあり + 売電単価が高い	ご家庭に
常にもしもの時に備える	蓄電モード	災害時に備え電池を満タンにしておきたい	ご家庭に

●連系時は、車両蓄電池の放電中も電力会社から常に0.1kW以上の電力を購入します(全モード共通)。
●スマートモード、節エネモード、ノーマルモードは使い切りレベル(通常使用時に電池残量を残しておくレベル)を0~50%の範囲で設定できます。使い切りレベルの維持のため、電力を購入して充電することがあります。

■ スマートモード使用例

充電 安価な夜間電力*1で電気自動車に充電 **放電** 電気自動車から放電した電気で家電を使用し、買電費用を削減
余剰充電 太陽光発電で発電した電気のうち、家電で使い切れない電気(余剰電力)を電気自動車に充電



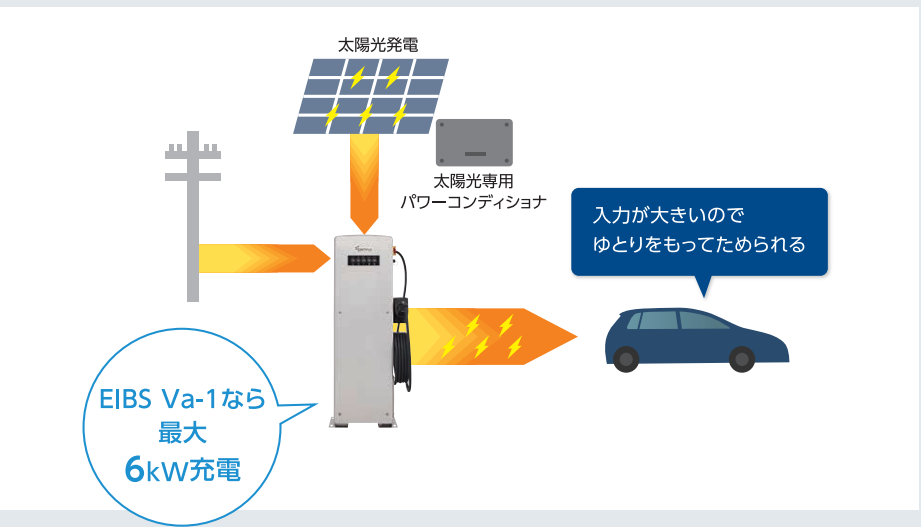
たっぷりためて、しっかりつかう高出力V2Hシステム

すばやく“ためる”

ハイパワー 最大6kW

ハイパワーで充電できるから、40kWhの車両蓄電池なら7時間で満充電可能。

高出力6kWだから、クルマへの
充電時間を大幅に短縮。
満充電を要する長距離走行時など
に便利です。

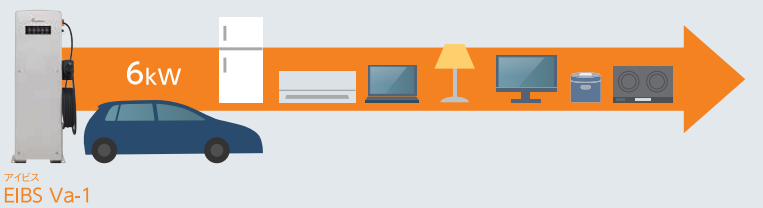


しっかり“つかう”

ハイパワー 最大6kW

ハイパワーで放電できるから、たっぷりためた電力をフル活用。

たくさんためても、つかえる力が小さければ一
度に使用できる機器は限られてしまいます。
EIBS Va-1なら使える力は大出力の6kW未満。
一度に多くの機器を使うことができ、特に停電
時*1はつかえる力の差を実感できます。



停電時も家中の家電が使用できて安心

EIBS Va-1を使用すれば200Vの
家電まで使用可能です。
停電時でもエアコンやIH調理器
など、すべての家電に給電できる
ため、普段通りの生活ができます。

非常時でも欠かせない家電を使用可能	200V仕様のこれらの家電も使用できます
 冷蔵庫 テレビ 照明 スマートフォン 充電	 200Vの家電例 IH調理器 エアコン エコ キュート*2
すべての家電に給電できます (最大5.5kVA*3)	

*1 停電時は5.5kW出力となります。 *2 「エコキュート」は、関西電力(株)の登録商標です。 *3 停電時に必要のない機器を接続して使い続けると、電気自動車の蓄電池の残量が不足し、ご家庭内で電気が使えなくなる場合があります。必要により機器をOFF、またはブレーカーを落としてください。

毎日のモニタリングはもちろん、必要な情報を音声でもお知らせ

音声モニタに「音声お知らせ機能」を搭載。停電時、異常検知時に大切な情報をいち早く音声でお知らせするので、状況を随時把握できます。さらに詳細な内容は音声モニタの画面で確認できます。



アドボイス
Advoice®

停電時

停電発生！
車両蓄電池より
電気の供給を開始したら…



停電のため発電、蓄電した電気を供給しています。
蓄電池を有効に利用するため
使用しない電気製品は電源を切ることをお勧めします。

車両蓄電池の残量が
少なくなってきたら…



現在の車両蓄電池残量は20%です。
直近の電気使用量であれば、1時間程度使えます。

停電時、たくさん電気を
つかいすぎしまったら…



停電のため、パワーコンディショナーから電気の供給を行いましたが、
現在の電気使用量が大きくパワーコンディショナーの能力を超えたため、
電気の供給が止まりました。

異常検知時

EIBS Va-1が
異常を検知したら…



点検が必要な為、システムが停止しています。
詳細はモニターのお知らせボタンを押して画面を確認してください。

全国サポートですばやい対応

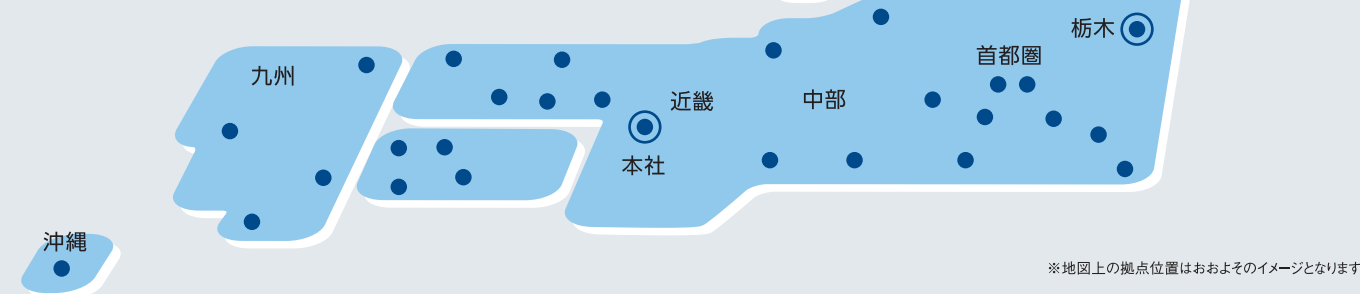
故障や不具合があった場合でも
全国100名以上のサービススキル保有者が
お客様のもとに駆け付けます。

専門スタッフによる
オンサイト修理
その場で対応

必要パーツを事前に揃え
速やかに修理完了
停止ロスを最小限

使用方法や機器に
関する問い合わせ
電話対応

現場対応
年中無休



※地図上の拠点位置はおおよそのイメージとなります

安心の標準10年保証

正常に使用していたにもかかわらず、
保証期間内に故障した場合に修理対応します。



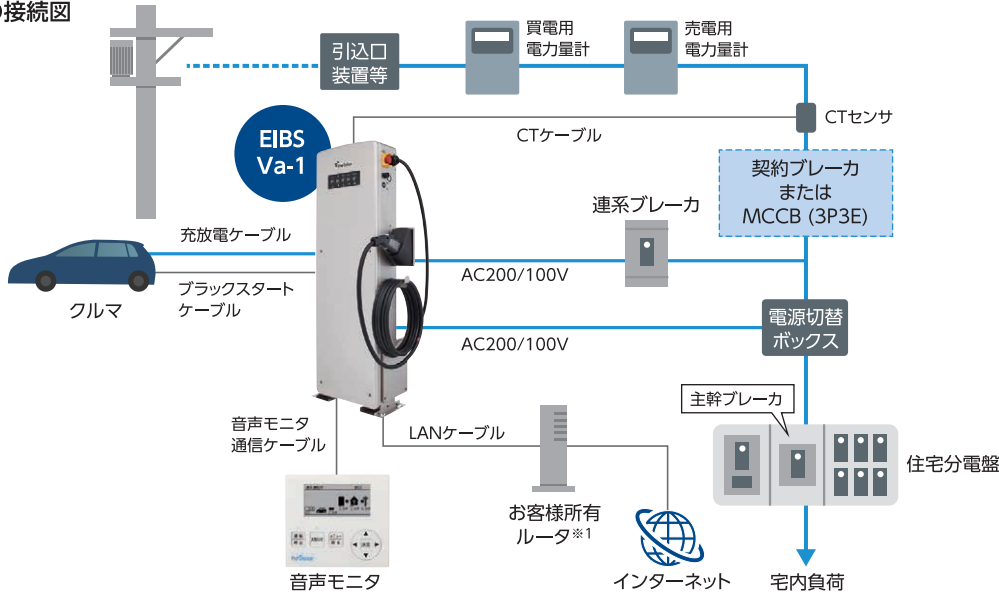
※V2Hユニット及び充電ケーブルは10年保証。その他部材に関しては1年保証。



EIBS Va-1が選ばれる理由

オールインワン (太陽光パネルがなくても設置可)

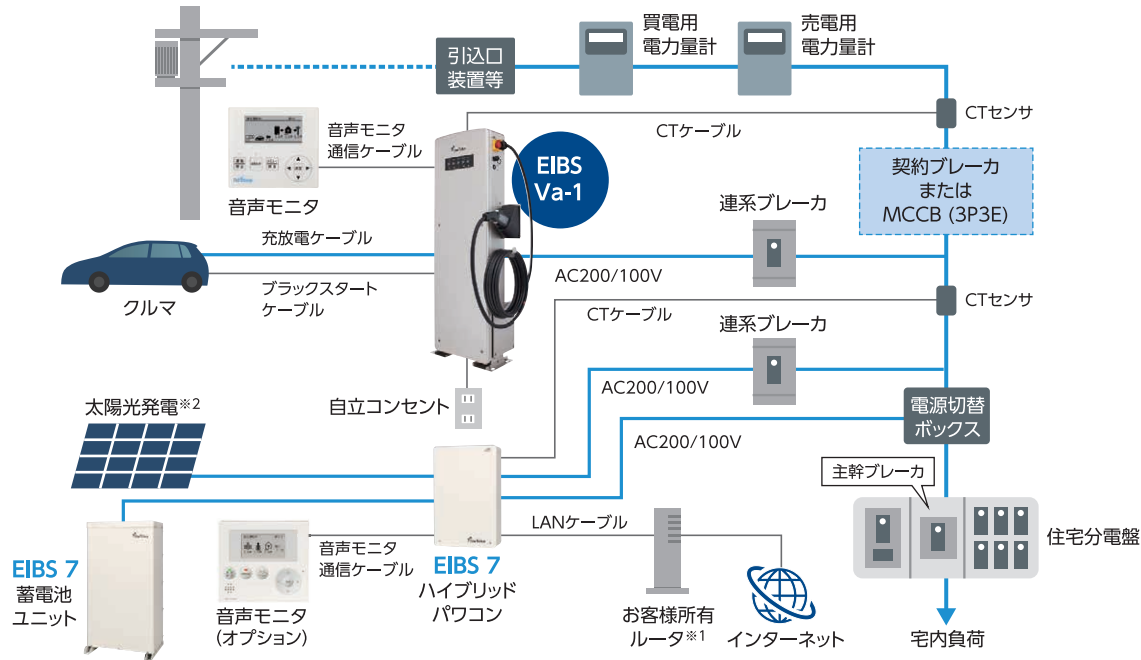
■ Va-1単品の接続図



既設太陽光システムへ導入可能

既にEIBS 7が設置されている場合でも、追加でEIBS Va-1を設置頂けます。 ※他社既存太陽光発電システムにも設置可

■ EIBS 7組み合わせ時の接続図

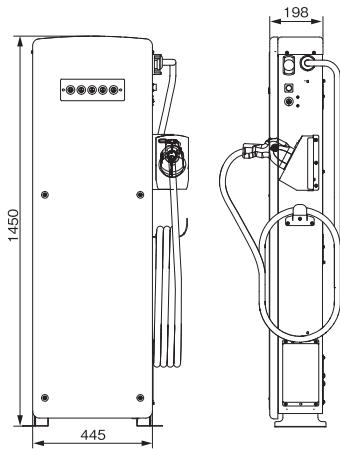


本体仕様

項目	仕様
型番	EPJ-S60EV
車両側電圧範囲	DC150～450W
充電電力(車両端)	6.0kW 未満
放電電力(車両端)	6.0kW 未満(停電時には5.5kWの電力を供給可能)
電気方式(連係)	単相3線式 AC202V 50/60Hz
連系運転定格出力(機器出力端)	5.5kW※1
自立運転出力(機器出力端)	5.5kVA※1,※2
外形寸法	W 445 × H 1,450 × D 198 mm(D:脚部、配線ボックス含むと279mm)
本体質量	75kg
ケーブル	7.5m
設置場所	屋内外
使用温度範囲	-20 ～ +45℃ (40℃以上は電力抑制有)
冷却方式	自然空冷(内部FANあり)
JET認証番号	EV-0005
適合規格	CHAdEMO(充放電規格)V2H DC版 EVPS-002:2018 2.1.1版
防水防塵保護等級	IP55

※1 電源切替ボックス接続時。片相 2.75kVA ※2 自立専用コンセントに接続時。片相1.5kVA
●仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

寸法図



音声モニタ(必須)

項目	仕様
型番	ZDIS-35ENBV01
外形寸法	140 x 125 x 18mm
本体質量	310g
動作温度範囲	-10～+40℃(ただし氷結しないこと)
設置場所	屋内

■ 製品使用上のご注意

- ・EIBS Va-1 (以下 V2Hユニット)は施工説明書に記載の設置場所、設置方法で正しくお使いください。
- ・近くでテレビやラジオなどを使用すると、画面の乱れや音声にノイズが混入する場合があります。これらの機器からは、なるべく離れた場所に設置することを推奨いたします。
- ・無線アンテナが近くにある場所への設置は電波受信に影響を与えることがあるため、事前に販売店にご相談ください。
- ・自立運転は車両電池に蓄えた電力を利用します。そのため、車両電池の状態によって、自立運転出力が不安定になることがあり、出力が低下すると自立運転は自動的に停止します。
- ・自立運転時に使用できる電力は、200V出力時に最大5.5kW、100V出力時は最大2.75kWが2回路分となります。(電源切替ボックスを使用しない場合は、最大出力電力は100Vが1系統で1.5kVAとなります。)
- ・使用する電気機器の消費電力の総計が自立運転の最大出力を超えた場合、自立運転出力は保護回路が働き停止します。このような場合、使用する電気機器を減らすなどして調整をお願いします。
- ・自立運転中に特定の電気波形(半波整流)を有する機器(ドライヤー、温水洗浄便座、電気カーペットなどの一部の機器)を使用すると一時的に運転が停止する場合があります。その場合は該当機器を使用しないでください。
- ・商用電源が停電した場合、本装置は運転を停止します。商用電源が正常に戻った後、運転操作が必要となります。
- ・無停電電源装置(UPS)機能は備えていません。
- ・V2Hユニットに接続可能な車両につきましては本紙P.3 QRコードの読み込み又は弊社ホームページをご確認ください。

■ 保証について

- ・設置後は速やかに保証書発行申請を行ってください。当社ホームページから申請いただけます。
- ・機器保証はV2Hユニット及び充電ケーブルは10年保証、その他部材に関しては1年保証となります。
- ・点検・修理をご要望の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・保証期間内であっても自然災害、塩害等の不可抗力や火災、電圧異常、又は動物や昆虫等による外来事故に起因する故障や損傷への対応は有償となります。
- ・その他、保証書裏面に記載する修理規定に基づいて修理対応をいたします。
- ・機器故障による発電量損失に対する補償、機器内記録データの損失復旧はいたしかねますのでご了承ください。



安全に関する
ご注意

- ・ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みいただき、ご不明な点はお買い上げの販売店または工事に会社にご相談の上、正しくご使用ください。
- ・電源が切れると生命や身体を害したり、財産に損害を受ける恐れのある機器はご使用にならないでください。
- ・ベースメーカー等を使用されている方は本システム機器に近づかないでください。
- ・設置工事は電気工事士の資格を保有した方が行ってください。必ず「取付工事説明書」をお読みの上、正しく安全に取り付けてください。
- ・設置場所については、取付工事説明書にて設置を禁止する場所には取り付けないでください。